

滋賀県湖南市 ここのっす園で「ぼうさいダック」を実施

～自分の命・体を瞬時に守るポーズ（ファーストムーブ）を学ぶ～

日本損害保険協会近畿支部（委員長：東口 嘉仁・三井住友海上火災保険株式会社執行役員 関西地区担当）では、9月3日（水）に湖南市の社会福祉法人 絆敬会 幼保連携型認定こども園 ここのっす園で近畿支部防災博士（※1）の増田晶子さんと当支部茨木職員が「ぼうさいダック（※2）」を実施しました。

当日は、3、4、5歳児90名を2回に分け、茨木職員から30年前の阪神・淡路大震災の経験談を交え、地震、火事、交通安全、不審者のカードで、災害や危険から命や体を守るポーズを覚えてもらいました。火事と不審者の説明では併せて「おはしも（避難の合言葉（※3））」と「いかのおすし（子どもを犯罪から守る合言葉（※4））」の意味を話しました。

「ぼうさいダック」の前に、甲賀広域行政組合消防本部が用意した起震車で地震の揺れの体験と消防車の見学があり、「地震の揺れが怖かった」という感想もあり、「ダック」のポーズが必要なことが体感できたのではないかと感じました。

ここのっす園の先生からは「ぼうさいダックで楽しく詳しく防災について教えてもらいました。また、迎えに来た保護者に子どもたちが『地震のときは頭を守ることを教えてもらったよ』と玄関に設置しているモニターの写真を見ながら話していました。」との謝辞と感想がありました。

当支部では、今後も防災博士や関係機関・団体等と連携し、各種防災教育の普及啓発に取り組んでまいります。

※1 防災博士とは…近畿地区における安全・防災活動に対し、積極的に協力いただける方を「防災博士」として委嘱しており、近畿支部防災博士は地域のリーダーとして安全・防災活動に貢献しています。

※2 ぼうさいダック…安全・安心の「最初の第一歩（ファースト・ムーヴ）」を、子どもたちが、実際に身体を動かし、声を出して遊びながら学んでもらうためのカードゲームです。

<https://www.sonpo.or.jp/report/publish/education/0008.html>

※3 「おはしも」とは…「お」さない、「は」しらない、「し」やべらない、「も」どらない。

※4 「いかのおすし」とは…知らない人について「いか」ない、知らない人の車に「の」らない、「お」おきな声で叫ぶ、「す」ぐ逃げる、大人の人に「し」らせる。



阪神・淡路大震災の経験について説明



地震のときは、頭を守る「ダック」のポーズ



地震の揺れの実験



誘拐されそうなときは、「わあー」と叫ぶ「ひつじ」のポーズ